

# 第5学年 社会科学習指導案

## 1. 単元名 「工業生産を支える人々」 小単元(3)「工業の今と未来」

### 2. 指導観

○ 本学年の子どもは、我が国の食料生産の様子やこれからの在り方に関心をもち、自ら進んで情報を集めたり、農業に従事している家族に話を聞いたりするなど、意欲的に学習に取り組んできた。また、本単元の小単元(1)「自動車づくりにはげむ人々」では、自動車工場で働く人々の工夫や努力、自動車づくりにおける人とロボットの役割、消費者の願いや環境問題などに応えるこれからの自動車づくりなどについて学び、小単元(2)「世界とつながる日本の工業」では、貿易を通じた日本と外国との関係や、その中で生じる様々な問題、これからの貿易の在り方などについて学んできた。多くの子どもは、教科書や資料集、提示された資料等を活用し、必要な情報を読み取ることはできている。また、枠や矢印を使って分かりやすくノートにまとめる子どもも増えてきた。しかし、調べたことを基に自分の考えをもったり、社会的事象の特色や意味を考えたりすることが難しい子どもも数名いる。複数の事実を比較したり、関連付けたりしながら考え、表現する力については、個人差が大きく、話し合い活動が考えの出し合いになっていることも少なくない。問いを焦点化し、話し合い活動を充実させることで、子ども自身が、社会的事象の特色や意味に迫ることができるようにしていきたい。

○ 本単元は、小学校学習指導要領社会第5学年の内容(3)ア、イ、ウを基に設定した。この内容は、我が国の工業生産について、様々な工業製品が国民生活を支えていること、各種の工業生産や工業地域の分布、働く人々の工夫や努力、貿易や運輸などの働きを調査したり、地図や地球儀、資料などを活用したりして調べ、それらは国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考えるようにすることをねらいとしている。また、新学習指導要領解説では、本単元で身に付ける思考力・判断力・表現力等について、「消費者や生産者の立場などから多角的に考えて、これからの工業の発展について、自分の考えをまとめることができるように配慮すること。」としている。

本小単元では、さぐる・まとめる段階の具体的事例の一つとして、小倉織を生産している本市の中小工場（以下、本工場）を取り上げる。本工場は、生産が途絶えていた小倉織の復元に挑むとともに、現代的魅力をもつ伝統工芸品として再生・進化させてきた。「伝統」という新たな付加価値を与え、消費者の需要やライフスタイルの変化に応えるものづくりを行っている本工場は、我が国の工業生産を支える中小工場のものづくりの特色について考える上で、大変価値ある教材である。

いかず段階では、ペットロボット「a i b o（ソニー製）」を取り上げる。今年の1月に販売を開始した新型 a i b o は、本物の犬のフォルムや動きを忠実に再現するとともに、AIシステムにより、人を認識し、なついたり成長したりするなど、様々な技術を結集して生まれた工業製品である。消費者や生産者の立場から新型 a i b o が開発された理由を考えたり、利便性や快適性だけではない「(心を豊かにする)感性価値」という視点からこれからの工業生産について考えたりするを通して、今後の工業の発展について考えようとする態度を養うことができると考える。

○ 指導に当たっては、以下の手立てを講じる。

#### (1) 主体的・対話的で深い学びを実現する問題解決的な学習過程

つかむ段階では、ちらしや教室の中から工業製品を探す活動を仕組んだり、工業の盛んな地域に着目する資料を提示したりして、身の回りの工業製品の数や種類の多さに気付くことができるようにするとともに、子どもの問題意識を高め、学習問題をつくるようにする。

さぐる・まとめる段階では、工業の盛んな地域の位置や分布の条件を考えたり、中小工場のものづくりの特色を考えたりする。具体的事例として、「大田区」「東大阪市」「北九州市」の中小工場を取り上げ、それぞれの地域の工場で働く人々の工夫や努力などについて調べ、それらを総合して我が国

の中小工場のものづくりの特色を考察していく。

いかず段階では、社会に見られる課題を捉えた上で、「これからの日本の工業には、どのようなものづくりが求められているのだろう。」という新たな問いをもち、これまでの学習や「a i b o」などの新たな事例を基に構想していく。その際、大単元「工業生産を支える人々」や1学期から続く産業についての学習のまとめにあたることを踏まえ、既習の農業や水産業、自動車工場などの学習と関連付けながら展開していきたい。

**(2) 対話を促す学習活動の工夫**

**① 問いの焦点化の工夫**

本小単元では、新たな視点を生み出す資料や事象の提示、子どもの既有的認識を揺さぶる発問などを工夫して、「なぜ～なのだろう」「どうすれば～になるのだろう」「何が大切なのだろう」など問いの焦点化を図り、社会的事象の特色や意味などに深く迫るための対話を促していく。

事例1では、小倉織を生産している本市の中小工場のものづくりについて調べた後、日本の工場数の減少を表すグラフを提示し、「工場数が減っている中で、なぜ、これらの中小工場は生産がさかんなのだろう。」と問いを焦点化する。

事例2では、これまでの学習を基に、これからの工業生産に求められていることを話し合った後、ペットロボット「a i b o」を提示し、旧型との形や機能の違いを比較することで、「なぜ、より本物に近づけた高機能なペットロボットを開発したのだろう。」と問いを焦点化し、今後の工業の在り方や発展について構想していくようにする。

**② 話し合い活動の工夫**

本小単元では、小グループや学級全体で考えを交流する話し合い活動を積極的に仕組んでいく。その話し合い活動が、子どもの思考をより広げたり深めたりするものになるように、比較・関連・総合しながら話し合うことができる手立てを講じる。小グループの話し合いでは、複数の事実や考えを比較・分類したり、関連付けたりしながら考えを交流することができるように、付箋やキーワードカード、思考ツールなどを活用する。その際、付箋やキーワードカードをホワイトボード上で操作したり、共通点やずれ、新たな問いなどを書き込んだりしながら話し合うようにする。学級全体の話し合いでは、既習の事実や具体的な資料、小グループで話し合ったことを基に自分の考えを説明する活動や、「大工場と中小工場」「生産者と消費者」など、様々な立場で考え、議論する活動などを仕組み、社会的事象の特色や意味に迫っていく。

**(3) 指導に生かす評価の工夫**

学習の終末で、一人一人がまとめとふり返しを行う活動を設定する。「自分のまとめ」として、本時のめあてに対する自分なりのまとめを学んだことを基にノートに記述するようしたり、ふり返りの内容を焦点化して記述するようしたりし、ねらいに照らした思考力・判断力・表現力等を見取っていく。さらに、見取ったことを次時の指導に生かしていく。

**3. 特別な教育的支援を要する児童に対する指導上の工夫・手立て**

困難さ	手立 て	対象児童	番号
資料から必要な情報を読み取ることが困難	調べる対象や問いを再度確認したり、いくつかの情報を一緒に読み取ったりする。	A児	①
事実を基に社会的事象の意味を考えることが困難	事実の背景や理由を問いかけたり、掲示物等を基に既習事項と比較・関連・総合することを促したりして、一緒に考える。	A児 B児 C児	②
自分の言葉でまとめることが困難	ノートや板書を基に、本時の学習を一緒にふり返し、分かったことや考えたことを問い返ししながら、まとめやふり返りに使うキーワードを絞る。	B児	③

#### 4. 小単元の目標

社会的事象への 関心・意欲・態度	○ 我が国の工業生産の様子に関心をもち、それを意欲的に調べ、国民生活を支える我が国の工業生産の発展を考えようとする。
社会的な 思考・判断・表現	○ 我が国の工業生産の様子について、学習問題や予想、学習計画を考え、表現することができる。 ○ 我が国の工業生産の様子と国民生活を関連付けて、工業生産が国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考え、適切に表現することができる。
観察・資料活用の 技能	○ 我が国の工業生産の様子を的確に調査したり、地図や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を活用したりして、必要な情報を集めて読み取ったりまとめたりすることができる。
社会的事象について の知識・理解	○ 我が国の工業生産は、国民生活を支える重要な役割を果たしていることを理解する。

#### 5. 指導計画と評価計画（総時数8時間）

	主な学習活動・内容	○ 指導・支援上の留意点 ★ 特別な教育的支援を要する児童への特に困難とされる場面での支援	評価規準及び評価方法
つ か む	1. 身の回りの工業製品の仲間分けをしたり、工業生産額や盛んな工業の種類の変化について話し合ったりして、学習問題をつくる。 ①	○ 様々な種類の工業や自分たちの暮らしとの関わりに関心をもつことができるように、身の回りの工業製品を探し、仲間分けをする活動を仕組む。 ○ 日本の工業生産の特色について問いをもつことができるように、現在の工業生産額や種類別の割合を示したグラフを提示し、日本で盛んな工業の種類について話し合うようにする。 ★ 手立て①③	【関】 我が国の工業には様々な種類があることや工業と自分たちの暮らしとの関わりに関心を高めている。（発言、ノート） 【思】 我が国の工業生産の特色について、学習問題や予想、学習計画を考え、表現している。（発言、ノート）
	(学習問題) 日本の工業生産には、どのような特色があるのだろうか。		
さ ぐ る ・ ま と め る	2. 工業の盛んな地域を調べ、工業が盛んな地域の条件について話し合う。 ①  3. 日本の工業を支える中小工場のものづくりの工夫や努力について調べ、中小工場の特色や役割について話し合う。	○ 工業が盛んな地域が帯状になっていることを視覚的に捉えることができるように、生産額のグラフを基に地図上に色シールを貼る活動を仕組む。 ○ 工業が盛んな地域の特色についてより深く考えることができるように、内陸で工業が盛んな地域の事例を提示する。 ★ 手立て①②③  ○ 工場の規模による違いや特色を捉えることができるように、大工場と中小工場の工場数や働く人の数、工業の種類別生産額の割合などを提示し、比較しながら考える場を設定する。	【知】 工業の盛んな地域の分布の様子やそれらの地域の生産の特徴を理解している。（発言、ノート）

さ  
ぐ  
る  
・  
ま  
と  
め  
る

- (1) 大工場と中小工場の違いや特色 ①
- (2) 高い技術を生かした大田区の中小工場のものづくり ①
- (3) アイデアを生かした東大阪市の中小工場のものづくり ①
- (4) 伝統を生かした北九州市の中小工場のものづくり ①

【本時1】  
(5年2組)

- 日本の中小工場の特色を捉えることができるように、3つの地域の中小工場を事例として取り上げ、働く人の写真や話などを基に、働く人の工夫や努力について調べるようにする。
- まとめやふり返りでは、その時間に学んだ日本の中小工場のものづくりの強みや特色を考えるようにする。
- 小倉織の中小工場のものづくりの特色を基に、我が国の中小工場のものづくり全体の特色を深く考えることができるように、日本の工場数の減少を表すグラフを提示し、「工場数が減っている中で、なぜ、これらの中小工場は生産がさかんなのだろう。」と問いを焦点化する。

★ 手立て①②③

【技】 中小工場のものづくりの工夫や特色を、資料を活用して具体的に調べている。(発言、ノート)

【知】 中小工場のものづくりが、日本の工業を支えていることを理解している。(発言、ノート)

【思】 3つの中小工場のものづくりを関連付けながら、日本の工業生産を支える中小工場のものづくりの特色を考え、適切に表現している。

(発言、ノート)

4. 社会に見られる課題を捉え、今後の工業生産の在り方や発展について、これまでの学習を基に考え、話し合う。

- (1) 社会に見られる課題を捉え、新たな問いとそれに対する自分の考えをもつ。 ①

- 新たな問いを見出すことができるように、社会に見られる課題を示す資料を提示する。
- これまでの学習と関連付けながら考えをつくることができるように、既習の農業や水産業、自動車工場などの様々な課題に対する取組を提示し、活用することができる環境を整える。

【関】 日本の工業の課題を捉え、今後の発展について意欲的に調べようとしている。(発言、ノート)

【技】 今後の工業の発展について、既習事項や資料を活用して具体的に調べている。(発言、ノート)

(新たな問い) これからの日本の工業には、どのようなものづくりが求められているのだろうか。

- (2) 今後の工業生産の在り方や発展について、考えたことを話し合う。 ①

【本時2】  
(5年1組)

- 今後の工業生産の在り方や発展について、消費者の願いや生産者の工夫・努力などと関連付けて考えることができるように、考えの根拠を問い返したり、似ている考えをつなげたりする。
- これからの工業の在り方や発展について、より深く考えることができるようにペットロボット「aibo」を提示し、「なぜ、より本物に近づけた高機能なペットロボットが開発されたのだろうか。」と問いを焦点化する。グループで話し合う際には、様々な視点や立場から考えを交流できるように、ホワイトボードを活用する。

★ 手立て①②③

【思】 今後の工業生産の在り方や発展について、国民生活の向上や社会に見られる課題の解決と関連付けながら考え、適切に表現している。


(発言、ノート)

い  
か  
す

## 6. 本時の学習

本時1 さぐる・まとめる段階 第5時 (於：5年2組教室)

- (1) **主眼** 北九州市の小倉織工場で働く人々のものづくりの工夫や努力について調べたり、大田区、東大阪市、北九州市の中小工場で生産がさかんな理由について話し合ったりする活動を通して、3つの中小工場のものづくりを関連付けながら、日本の工業生産を支える中小工場のものづくりの特色を考えることができるようにする。
- (2) **準備** 小倉織の製品、小倉織についての年表、築城さんの話、工場数減少のグラフ
- (3) **展開**

主な学習活動・内容	○ 指導・支援上の留意点 【観点】 評価規準 (評価方法) ★ 特別な教育的支援を要する児童への特に困難とされる場面での支援のポイント
<p>1. 前時の学習をふり返り、本時の学習のめあてを話し合う。</p> <p> 日本の中小工場は、どのような工夫をしているのかな。</p>	<p>○ 本時の学習のめあてをつかむことができるように、学習計画や前時の学習をふり返る活動を行う。</p>
<p>(めあて) 日本の中小工場は、どのような工夫や努力をしてもものづくりをしているのだろう。</p>	
<p>2. 築城さんの話や年表を基に、小倉織の工場で働く人々の工夫や努力について調べる。</p> <p> 小倉織の伝統を生かしたものづくりをしているね。</p>	<p>○ ニーズに応えた現代的なデザイン、機械織りの高い技術や品質の高さ、伝統を生かしたものづくり、小倉織にかける思いなどの工夫や努力をつかむことができるように、小倉織をつくっている築城さんの話や年表を提示する。</p> <p>○ 大田区の高い技術や東大阪市のアイデア溢れるものづくりとつなげながら考えることができるように共通点を問う。</p>
<p>3. 大田区、東大阪市、北九州市などの中小工場で生産がさかんなわけを考え、話し合う。</p> <p> 工場数が減っている中、3つの工場が生産がさかんなのはなぜかな。</p> <p>(1) 個人で自分の考えを書く。 (2) グループで話し合う。 (3) 学級全体で話し合う。</p>	<p>◎ 我が国の中小工場のものづくり全体の特色を深く考えることができるように、工場数が減少しているグラフを提示し、「工場数が減っている中で、なぜ、これらの中小工場は活躍しているのだろう。」と問いを焦点化する。</p> <p>★ 手立て② 机間指導の際に、B児には、「それぞれの工場の強みは何か」「誰のことを考えてものづくりをおこなっているのか」と問いかけ、一緒に考えるようにする。</p> <p>○ グループで話し合う際には、3つの工場の共通点などを交流できるように、ホワイトボードを活用する。</p>
<p> 伝統のある小倉織を使ってものづくりをしているところが魅力的だからではないかな。</p> <p> どの中小工場も高い技術をもっているからではないかな。</p> <p> それぞれがその中小工場ならではの強みをもっているからではないかな。</p>	
<p>【思】 3つの中小工場のものづくりを関連付けながら、日本の工業生産を支える中小工場のものづくりの特色を考え、適切に表現している。 (発言、ノート)</p>	
<p>(まとめ) 日本の中小工場は、高い技術や新しいアイデア、伝統などの強みを生かし、消費者のニーズに応えるものづくりをしている。</p>	
<p>4. 本時の学習をふり返る。</p>	<p>○ ふり返りでは、自分の考えや学習の過程で考えが深まったこと等を記述するように助言する。</p>

**本時2** いかす段階 第2時 (於：5年1組教室)

- (1) **主眼** これまでの学習を基に、今後の日本の工業生産に求められるものについて考えを交流したり、ペットロボット「aibo」が開発された理由について話し合ったりする活動を通して、国民生活の向上や社会に見られる課題の解決と関連付けながら、今後の工業生産の在り方や発展について考えることができるようにする。
- (2) **準備** 学習の足跡, aibo (写真・映像), 開発者の話
- (3) **展開**

主な学習活動・内容	○ 指導・支援上の留意点 【観点】 評価規準 (評価方法) ★ 特別な教育的支援を要する児童への特に困難とされる場面での支援のポイント
<p>1. 前時の学習をふり返り、本時の学習のめあてを話し合う。</p> <div data-bbox="135 694 215 795" style="float: left; margin-right: 10px;"> </div> <div data-bbox="231 683 558 795" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>前回の学習で、日本が様々な課題を抱えていることが分かったよ。これからの日本の工業は、どう在るべきなのかな。</p> </div>	<p>○ 改めて問題意識を高め、本時の学習のめあてをつかむことができるように、学習の足跡などを基に前時の学習をふり返り、「少子高齢化(働き手不足)」「環境(資源・エネルギー)問題」など、社会に見られる課題(産業が抱える課題)を想起する場を仕組む。</p>
<p>(めあて) これからの日本の工業には、どのようなものづくりが求められているのだろう。</p>	